

——将来の超知性ネットワークを実現する技術に関する論文特集（和文論文誌 B）論文募集——

将来の超知性ネットワークを実現する技術に関する論文特集 編集委員会

近年、機械学習などの AI（人工知能）を活用した通信技術の研究開発が活発化しており、将来は AI を活用した知的な通信技術・通信システムが広く利用されることが期待されます。加えて、これまでは無線／有線、上位レイヤ／下位レイヤ、などの個別の分野で知的な通信システムについて議論されておりましたが、今後は分野を横断した議論が望まれています。AI や機械学習、Bio-inspired、各種アルゴリズムなどの活用で実現される、将来のより知的で高度なネットワークシステム、及びネットワークサービスを超知性ネットワークと称し、2019 年 11 月に超知性ネットワークに関する分野横断型研究会（RISING2019）が企画されております。本研究会での議論を深掘りし、分野間の更なる連携を進めるため、「将来の超知性ネットワークを実現する技術に関する論文特集」と題して、最新の成果に関する和文論文を募集します。

本特集（2021 年 3 月号）では、無線／有線、上位／下位レイヤ、ソフトウェア／ハードウェアを問いません。知的な通信システムの実現に向けた理論的・実験的研究に加え、企業で製品化されたシステムや、展示用のデモシステム、コンセプトシステム、及び大学・官公庁研究機関において行われたシステム開発なども対象と致します。分野間の連携拡大を目指し、RISING2019 ではポスターで発表された研究を発展させた論文・レター投稿はもとより、同研究会で発表されていない研究についても、多くの皆様からの積極的な御投稿をお待ちしています。

1. 対象分野：

- ・超知性ネットワークの実現を目指した研究
- ・AI・機械学習・ビッグデータ解析、Bio-inspired、各種アルゴリズムを利用した知的なネットワークに関する研究、もしくはこれらを活用するネットワーク基盤に関する研究
- ・超知性ネットワークに関するアプリケーションの実装・運用に関する研究

2. 論文の執筆と取扱い

- ・論文の執筆、査読の取り扱いは一般論文と同一とします。詳細は、投稿のしおりを御参照下さい。
https://www.ieice.org/jpn/shiori/cs_mokuji.html
- ・原則として、論文は刷り上がり 8 ページ、レターは同 2 ページを標準とします。
- ・特集発行のスケジュールにより、査読後の再提出期間が短縮される場合があることをあらかじめ御了承下さい。

3. 主なスケジュール

投稿締切：2020 年 5 月 15 日（金）厳守

第 1 回判定通知：2020 年 7 月下旬を予定

最終判定通知：2020 年 10 月下旬を予定

発行月：2021 年 3 月号

（本特集の論文は、採録決定後、掲載料をお支払い頂くと直ちに早期公開されます。詳細は、投稿のしおりを御参照下さい。）

4. 投稿方法

投稿は原則電子投稿とします。

https://review.ieice.org/regist/regist_baseinfo_j.aspx にアクセスし、投稿原稿に関するデータの登録と、投稿原稿 PDF ファイル（4 MB まで）ならびに編集用電子ファイル（1 ファイルにつき 10 MB まで）をアップロードし、Copyright Transfer and Page Charge Agreement の手続きをして下さい。なお、電子投稿が困難な場合は、学会事務局（wabun-b@ieice.org）に御連絡下さい。

5. 特集編集委員会

編集委員長 藤井威生（電通大）

編集幹事 平 明德（三菱電機）、山本 寛（立命館大）

編集委員 新井イスマイル（奈良先端大）、鬼沢 武（NTT）、菅原真司（千葉工大）、田久 修（信州大）、橋拓至（福井大）、布目敏郎（名工大）、廣田悠介（情報通信研究機構）、山崎浩輔（KDDI 総合研究所）、山田 渉（NTT）

6. 連絡先

山本 寛（立命館大）

TEL [077] 599-4377, E-mail : hiroyama@fc.ritsumeai.ac.jp